

「飲料工場造って」PR徹底的に

## 大野市政に鋭く質問

### 子ども議会 10人登壇

大野市内の小学6年生が議会を体験する「子ども議会」が20日、市役所内の議場であった。市内全校の代表10人が議員に扮し、本物さながらに人口減少対策や誘客といった市の施策に対して鋭

い質問を投げ掛けた。

理事者側には石山志保市長や久保俊岳教育

委員 牧野美南さん(有終南

は、観光客や人口の増加

長らが着席。オブザーバーの市議が見守る中、議長役の白崎愛唯さん(上庄)と副議長役の岡本夏美さん(下庄)の進行で児童が順に質問に立った。



理事者に質問を投げ掛ける児童 20日、大野市役所

に向け「ビールや飲料水メーカーの工場を造ってはどうか。名水のまちのPRにもなる」と質問。

提案を交えた発表に、石山市長は「大野の水事業

に関心を持つ企業の中には飲料水メーカーもある。ビールなどの工場を造ってもらえるよう取り組んでいく」と前向きに

答弁した。

そのほか、福井しあわせ元気国体・大会(全国障害者スポーツ大会)への

取り組みや、西日本豪雨を受けて避難勧告に関する

質問もあった。中には答弁を受けて再質問に

立ち、堂々とした口調で「市全体で徹底的にPR

に取り組むべき」と語る

児童もあり、議場を沸かせていた。(栗原愛)